

# 新潟県

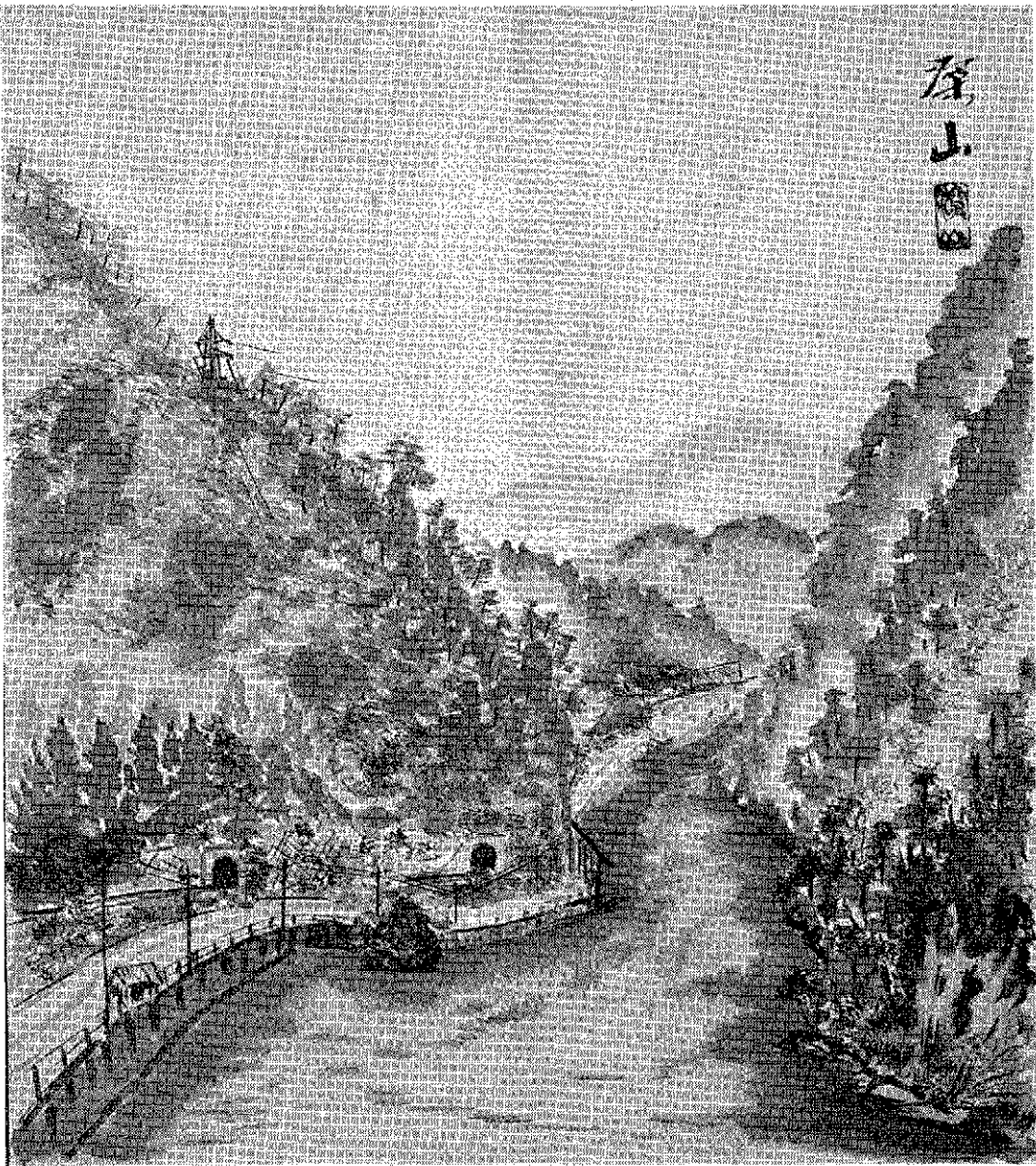
# 公民館月報

昭和59年12月号

発行所 新潟県公民館連合会  
【新潟市川端町2-9 県林業会館内】  
【電話・新潟 (0252) 24-6073】【振替新潟0-4049】

発行人 会長 石井 耕一  
編集人 事務局長 本田 清  
【定価1部 100円 年共 1,200円】

岩  
山  
尊



国道四十九号線、阿賀野川沿い、津川町と三川村の境界にそびえる絶壁の奇岩。

本 尊 岩  
屹立した岸壁の美しさはまさに絶景。しかし、往時は舟便のみで交通の便がわるく、住民は難渋していた。

明治九年、津川町区長薄八三郎、清川村戸長佐藤和一郎、白崎村戸長皆川兵次郎は、新道開発を發起し、沿岸各村戸長ならびに有志十一人の協力を得て金貳千七百円を醸出することに成功。また県庁より金千円を借りて以川口村より白崎村を経て本村に至る新道を開さくした。また本尊岩絶壁崖下に長さ十二間の機橋を架して大いに交通の便を開き、山戸峡中の絶景を世に公開するに至ったという。

現在は、国道トンネル・磐越西線トンネル等も整備され、往時をしのぶ余裕さえもなく通り過ぎてしまふ。

絵 三川村 大島三郎  
文 東蒲原郡史誌誌より

# 前橋で第25回関公連大会

さる 9 月 7、8 日、第 25 回関公連大会が群馬県前橋市中央公民館で開かれ、本県から 20 名が参加した。  
 テーマは『住民とともに歩む公民館をめざして—今日の公民館をめぐる状況をふまえて』とするもので、関東甲信越静岡ブロック内から約 1,000 名が参加し、それぞれ 18 分科会に分かれ、熱のこもった討議が行なわれた。



(放送教育と公民館分科会)

## 住民とともに歩もう

### 本県勢「放送教育と公民館」で活躍

「放送教育と公民館」から、話し合われた内容を要約し、テーマとした第八分科会を紹介する。

「地域づくりと公民館」  
 (都市部)  
 公民館は市民のニーズに添えていかなければならない。地域課題を推進することが地域づくりになる。

「公民館は人間講座程度の域を出ていない。」  
 カルチャーセンターには地域づくりがない。  
 専門職を雇って学習の機会を制度化すべき。

「地域づくりと公民館」  
 (町村)  
 公民館の活動は人づくり、地域づくりである。

住民とともに歩む公民館としても行政担担が多し。  
 公民館は住民による住民の活動でなければならぬ。  
 公民館は地域住民のなまり場でなければならぬ。

公民館は地域の課題、学習要求、社会の発着にどう対応したのだろうか。  
 公民館活動は地域の住民が育てていくべきである。

「施設機能の複合化と公民館」  
 総合文化センターになって行政

どうまく連携できた例もある。出張所を兼務になって失敗した例もある。

複合館といっても各地、各館でみなニーズが違っていて、一括をきかないといこと。

「公民館職員のあり方と公民館」  
 公民館職員と公民館、それに公民館で学習、集会をする住民の現状と問題点について各職員・住民の立場から話し合われた。とくに職員の専門性について活発な討議がなされ、社教主事だけではなく公民館主事の専門性の必要が語られた。

「成人男子と公民館」  
 現在の公民館でも利用者の主体は高齢者、婦人層が大半であり、足を向けない成人男子をいかにすべきかの問題で活発な意見交換が行なわれた。たとえば館研究集会は、次年度本県にお

公民館の学習会、諸事業を準備して開催されることとなった。

していただくため、アンケート

都道府県公連で月刊公報紙、機関誌等発行しているところは、現在、新潟県公連、愛媛県公連など数県に過ぎず、全体の底上げが望まれる。

なお、この関東甲信越関東員

会、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

### 公民館関係法令・解説(資料)

内容：教育基本法・社会教育法・社会教育法施行令・公民館の設置及び運営に関する基準規程・通達「公民館運営の取扱いについて」(詳しく解説つき、公民館職員、同進業者等必携の書。一冊三〇〇円)(送料別)

申込先：〒別 新潟市川端町二ノ九 県林業会館内 県公民館連合会事務局

## 第五次専門委員会答申 生涯教育時代に即応した公民館のあり方 から

もともと社会教育は、時代の変化を予見し住民がその生活を守り、発展させるのに必要な教育課題をとらえて、適切な学習の機会と場とを提供しその成果を地域に還元することを本旨とするものであり、それは学校教育とともに生涯教育の中核をなすものである。

公民館はその実践の中核機関としての任務を課せられている。(第一部総論による)

かつて全公連の第一次専門委員会は、公民館の目

的と理念を、①公民館活動の基底は、人間尊重の精神にある、②公民館活動の核心は、国民の生涯教育態勢を確立するにある、③公民館活動の究極のねらいは住民の自治能力の向上にある、と表現した。この基本的視点は、今日もなお生きている。ただ変化してやまない現代社会においては、それらを静的に解釈するだけでは不十分であって、より動的な見方と方向づけを行う必要を生じている。(第二部、1 公民館の理念による)

### 全国公研集会・速報から

## 分科会名 都市における公民館の管理、 経営の課題と展望

報告者 助言者 文部省社会教育局社会教育官  
田中久文

#### 1. 主な討議事項

1. 複合施設における公民館活動と他事業との区分、公民館の配置
2. 公民館職員と一般職員との交流
3. 運営の委託、職員の嘱託化
4. 民間教育産業の発展とそれへの対応

#### 2. 討議内容

1. 複合施設による住民への利便、地域づくりへのやり易さがあるが、公民館事業の発展が困難になる。勤務体制の複雑化につながる。公民館施設を地区公民館と校(住)区公民館との連携体制化か、校区ごとに並列的に公民館を作っていくか。
2. 各職員の意識や考え方により、公民館に定着しない人が多いが、専門職として採用されたときの昇進、昇給の遅れも問題がある。社会教育主事の講習を受けさせているところが多いが、任用とは別
3. 館長の非常勤化、嘱託化が増え、学校長OBが就任することが多いが、他に適任者が得にくいことが多い。非常勤化の増加一般行政からの就任が多い
4. 公民館の隣りに民間カルチャースクールが建ったケースがあるが、公民館としての独自性、機能を考えていく必要がある

#### 3. 助言の内容発

1. 複合施設化は方向としては望ましいものだが、それぞれの個々の機能を損わないように考えるべきである。
2. 3. 諸般の事情で流れとしてはやむを得ない面があるが、基幹的職員としては正規職員とすべきである。
4. 公民館の機能がすべて民間スクールに代わるはずがないし、住民の中にあるかくれた学習需要も掘り起し、柔軟に対応していく必要がある。



かつて、公民館活動は、戦後の民主化の突進として燎原の火の如く燃え広がった時代があった。夜を徹して



移った。では、いま、その公民館の果たすべき役割は、

### これからの公民館像

田中 岬

昭和五十九年度第三十五回の公民館の所期の目的を達成し、その使命を全うしたのであるか。

「世紀の長編をきか待たせては、町づくりに向けた実践の場として実効を企図していかねばならない」と考えている。

こうした時勢にあって、住民の多様な要求に応える態勢が必要であり、一面、生涯教育の場としての施設や人的な条件整備が緊急であることも事実である。

これまでの公民館活動の蓄財を踏まえ、推移する市民ニーズと公民館事業のあり方や各層の教育活動・コミュニケーションへの役割を再構築する中でかわれわれの任務である。

長岡市中央公民館館長 本倉副会長

### 色紙(表紙絵)募集

公民館の絵画教室での傑作、利用グループの中で絵をよくなる人の作品を、なるべく各々位置で書かれたものを。

絵の内容は「名勝、旧跡、文化財」などのほか、表紙にあわしむものでもあればなんでも結構です。説明又は四百字程度を添えて下さい。

### コミュニティ映画

#### 柏崎からのレポート

柏崎市では現在、コミュニティ映画の放映が盛んで、16ミリ、カメラ、30分、三五〇万円)の撮影が進められている。

この映画は、従来の行政広報映画にありの勝ちな行政成果のPRとしてつねに「コミュニティ」の意識をより正しく理解していただくことも、コミュニティづくりの基本的な課題である「住民のコミュニティ意識を高める」ということとこのあたりを鑑みて

十一月中旬の現在まで撮影されたフィルムは二時間にも及んで、コミュニティづくりを抽象的な言葉としてではなく、住民に正しく理解され易い具体的なものとして表現しよう、且つレポートもワンクォーター、カメラマンも経験者をかきわけている。

そして、この映画作成担当の事務局であるわれわれ公民館職員も、コミュニティづくりの結果、市民の具体的な役割を明らかにして、個人や個人の完成を追求する公民館活動、より大地を指してみんなの幸福を追求するコミュニティづくり、そしてその関係、あり方を追求しながた、明春三月の完成を期して映画づくりに進められていく。

(柏崎市中公民館館長 参事兼事務局長 徳岡助次)

### 公民館番頭日記 (42)

そのまじなことから映画は本業論文のテーマに「コミュニティづくり」を取り上げた大学生が、コミュニティづくりに取り組んでいる柏崎市を訪れ、コミュニティや公民館の関係者をはじめ、市民にインタビューしたり、各種のコミュニケーションの事業等について、コミュニティづくりの意識や、課題を考察して卒業論文をまとめるべく、どうも手法がとられ、レポートとして新編大の先生への紹介により、新編大三年の女子大学生が起用されている。

公民館の原点・寺中構想に学ぶ

(3)

九 備考

(一) 以上の公民館制度の要綱は、一つの構想を示したものであるから、あくまでも、その町村の具体的実情、すなわち、町村民の気質、負担力、町村財政の事情等から見て、最も郷土に適した公民館の設置の実現をはかること。

(二) 公民館の整備は、資材資金等の関係から、直ちに万全な施設をなすことは、すぐおぼろしいと思われ、漸次町村当局の努力と、国及び都道府県の輪流助成により、その充実をはかるようにしたいこと。

(三) 公民館は、町村民にとって「われわれ自身の施設」であるから、その関係者、特に役職者は、この事業を成功させるために、無償奉仕する心構えで、公民館の運営力を尽くすべきこと。

(四) 町村以外の都市で、市立図書館、博物館、公会堂等のあるところは、極力これら施設の固有機能を充実に發揮せしむるようになり、特に、別個の公民館の施設は、必ずしも考えなければならないと思われ、図書館、博物館、公会堂等において、その附帯事業として、図書資料の貸出しを行ない、また、各種の会合を開催し、努めて公民館的な運営を行うことについては、大いに考慮すること。

国及び都道府県においても、予算の許す範囲内において、できる限りの助成をなすこととしたい考えであるが、財政難の折柄、直ちに多額を期待することは困難な状況にあるので、町村自治財政力によつて、極力自主的な維持経費を考え、どうしても成りかねる点については、都道府県なり国からの援助を求めるようにならなければならない。

昭和二十一年七月二十五日、内務省地方局長は、公民館設置運営「二閣スル件」を各地方長官に通牒し、公民館地方自治振興のうえからも、必慎なるもの認められ

このなかで、社団法人農山漁村文化協会が推奨している、部落革新に關して、適切な資金助力を加えられるよう御依頼申します。尚、社団法人農山漁村文化協会において、部落単位の農民クラブの設立を推奨しておりますが、この施設は、公民館と一体的に運営されることが望ましく、また、そうしてこそ初めて十分な効果を期待することができると考えられるのであります。まして、また事実、両者一体となつて、地方文化並びに産業振興に全面的に協力するまでになつておりますから、この趣旨を御了承の上、両施設の設置運営に關し、一段の御高意を煩わしたいと存じます。(以下略)

(全公連刊「全公連二十年史」より)

第25回関公連研究集会から

質問ハガキ

放送日	月	日	番組のテーマ
-----	---	---	--------

(放送日から7日以内に投かんして下さい)

- 番組を見て特に印象に残ったこと
- 番組の中であまり理解できなかったこと
- スクーリングにおいてみんなで話し合つてみたいこと

講師から資料として整えていただきたいテーマ等

- (2) スクーリング (集合学習) のねらい
- (ア) 番組の内容の深化をはかる
  - (イ) 番組視聴から生じた疑問を解く
  - (ウ) 番組の内容に関連する幅広い学習をすすめる
  - (エ) 集団思考によって多様な価値に気づき、自己の考えを確認する
  - (オ) 仲間づくりと学習意欲の持続
  - (カ) 放送以外に学習資料の提供

(3) 特別公開講座の開設

シルクロードに興味、関心がありながら継続して参加することの困難な人のために、又は放送利用学習者を新たに育成するために、一般市民に呼びかけ学習の機会を提供していく。次の公開講座を開催した。

・4月21日 (トルコ共和国大使館後援)  
 テーマ 東西文明の十字路  
 ～遺跡とトルコジュータン～  
 講師 テキスタルデザイナー 鈴木 和子  
 参加者 128人

・7月5日  
 テーマ 古代シルクロードの音楽をたずねて (中国旅行談)  
 講師 東京大学名誉教授 岸田 成雄  
 参加者 48人  
 ※新潟大学へ集中講義に来新された機会をとらえて講演を依頼した。

2. これまで実施してみたの問題点

放送利用の特性を生かした事業展開をどのようにすすめていくかというその「特性」を学習をすすめていく段階でどのように実施していくか問題点をさぐってみると

(1) 視聴ノートと活用とその方法

ノートは簡単なメモをとるという軽い気持ちで書くよう指導してきたが、これを生かす方法、メモをみんなのものにする手立ては考えられないものであろうか。

(2) 集合学習におけるVTRサービス

月1回の集合学習にVTRで学習時間の半を占めると学級運営上に無理な点が多い。個人視聴が原則という建前からその時間帯を学習以外の時間帯にサービスしなければならないところであるが、参加者に勤労成人が多いこと。同時視聴による学習展開への利用という点からVTRサービスのあり方をさぐっていかねばならない。

(3) 番組終了後の学習プログラムと継続学習への不安

シルクロードの番組は、止にテレビを教材として学ぶに一番適している。

しかしこの番組が終了した後の学習プログラムの立案と更に学習を深めていくための工夫が必要であらう。

(四) 大都市の外郭地や農村に準ずるようなところは、本要綱による公民館の設備を考慮すべきであり、また、図書館等がある都市でも、別に、町内単位で公民館をつくる必要も財政力があれば、大いにこれを促進することは必要であること。以上

内務省・農業会も全面協力

文部次官官廳が答をくれた当時、内務省 (現在の自治省) でも公民館に深い関心と期待を寄せていた。

昭和二十一年七月二十五日、内務省地方局長は、公民館設置運営「二閣スル件」を各地方長官に通牒し、公民館地方自治振興のうえからも、必慎なるもの認められ

このなかで、社団法人農山漁村文化協会が推奨している、部落革新に關して、適切な資金助力を加えられるよう御依頼申します。尚、社団法人農山漁村文化協会において、部落単位の農民クラブの設立を推奨しておりますが、この施設は、公民館と一体的に運営されることが望ましく、また、そうしてこそ初めて十分な効果を期待することができると考えられるのであります。まして、また事実、両者一体となつて、地方文化並びに産業振興に全面的に協力するまでになつておりますから、この趣旨を御了承の上、両施設の設置運営に關し、一段の御高意を煩わしたいと存じます。(以下略)

(全公連刊「全公連二十年史」より)

文化協会が推奨している、部落革新に關して、適切な資金助力を加えられるよう御依頼申します。尚、社団法人農山漁村文化協会において、部落単位の農民クラブの設立を推奨しておりますが、この施設は、公民館と一体的に運営されることが望ましく、また、そうしてこそ初めて十分な効果を期待することができると考えられるのであります。まして、また事実、両者一体となつて、地方文化並びに産業振興に全面的に協力するまでになつておりますから、この趣旨を御了承の上、両施設の設置運営に關し、一段の御高意を煩わしたいと存じます。(以下略)

(全公連刊「全公連二十年史」より)

文化協会が推奨している、部落革新に關して、適切な資金助力を加えられるよう御依頼申します。尚、社団法人農山漁村文化協会において、部落単位の農民クラブの設立を推奨しておりますが、この施設は、公民館と一体的に運営されることが望ましく、また、そうしてこそ初めて十分な効果を期待することができると考えられるのであります。まして、また事実、両者一体となつて、地方文化並びに産業振興に全面的に協力するまでになつておりますから、この趣旨を御了承の上、両施設の設置運営に關し、一段の御高意を煩わしたいと存じます。(以下略)

(全公連刊「全公連二十年史」より)

# 放送教育と公民館

## 放送利用学習の日常化をめざして

発表者 新潟市鳥屋野地区公民館 社会教育主事 梶 瑤子

前橋で開催された関公連大会の分科会で、本県は「放送利用と公民館」(第8分科会)の発表、司会、助言の役割(2面に紹介)を分担した。「放送利用学習の日常化をめざして」と題した梶さんの発表要旨を紹介する。

### I はじめに

本市における放送利用学習の取り組みは、昭和47年に文部省の研究委嘱を受けたことに始まり、「十代とともに」「サラリーマンのクリニック」「現代胸算用」などを利用し、成人男子の学習の機会の拡大を目的とした放送利用のいくつかのケースが試みられてきた。その実情から、昭和51年財団法人日本映写教育協会の視聴覚教育賞を受賞するに至ったが、その後停滞期が続き、2~3の公民館で「経済セミナー」「お母さんの勉強室」などが行われていた。本年3月、NHKから教育テレビ放送開始25周年記念として放送利用学習の開発について、新潟市が研究委嘱を受けた。研究委嘱期間は59.4.1~61.3.31までの2か年間である。

これをすすめるために、公民館職員10名、社会教育課、視聴覚センター、NHK新潟放送局職員13名からなるプロジェクトチームを編成し、放送利用の開発と日常化を推進するための方策を研究し、推進していく「研究会」を組織した。

4月という公民館全体の事業がスタートした段階で、少ない予算と少ない職員体制でどのように放送利用学習を取り入れた事業を実施していくか、メンバー(研究会)から多少の異論があったが、この事業の意義を確認し合いとにかく新潟市としては積極的にこの事業に取り組んでいく運びとなった。

### II 放送利用学習研究委嘱事業計画

- 研究テーマ  
放送利用学習者を新たに育成し、放送利用学習の日常化をはかるために、行政はどのような援助を行ったらよい送を研究する。
- 目的  
放用の日常化をはかる。
- 事業の実践目標
  - 市内9か所の公民館に放送利用講座を開設し、放送利用学習小集団ネットワークづくりをすすめる。
  - 学習情報の提供、学習相談、VTRサービスなど個人学習への援助をすすめる。
- 事業名  
市民テレビセミナーネットワーク にいがた
- 実施状況

実施する公民館名	取りあげる番組名	実施時期	参加人数
中央公民館	乱世と人間像	5月~10月	48人
西地区公民館	おかあさんの勉強室	6月~翌3月	15人
鳥屋野地区公民館	シルクロード	4月~翌3月	35人
東地区公民館	中学生日記	5月~7月	31人
北地区公民館	おかあさんの勉強室	5月~翌3月	22人

中地区公民館	中学生日記	9月~翌3月	8月~10月がたで募集する
坂井輪地区公民館	おかあさんの勉強室	9月~10月	
石山地区公民館	レッツダンス	10月~翌3月	
曾野木公民館	絵画入門講座	9月~翌1月	

### III 鳥屋野地区公民館における放送利用講座の実況

#### 1. 実施状況

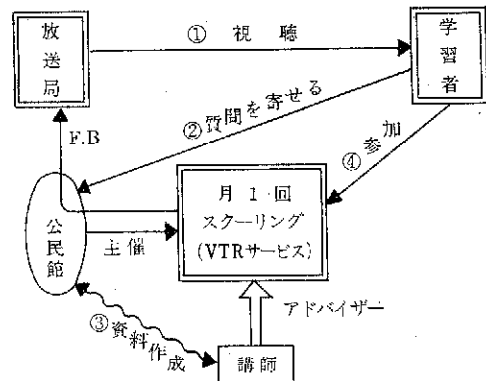
NHK「シルクロード」第2部の番組を利用し、テレビから中央アジアの遺跡や自然などについて学ぶ学習会を月1回開催している。

専任講師として元新潟大学教育学部教授藤井重雄(東洋史専攻)先生を依頼している。この講座は、①番組の中身の解説ではないこと、②個人学習への援助であることを基本にすすめている。したがって講師からは、資料の提供と図書の活用、個人で学習していく方法などを助言していただいている。

#### (1) 学習のしくみ、方法

- 個人視聴(視聴ノートの記入)
- ハガキで質問を公民館へおくる。
- 公民館は、スクリーンまでに講師と連絡をとり合い、寄せられた質問や、放送されたものの中から必要な資料を作成する。
- スクーリング(VTRの共同視聴、講義、研究協議、フリートーキングと相互学習を深め、個人学習への動機づけをする)
- 自主学習への促進をはかるため、図書等の活用を推進する。

#### 学習のしくみ



#### 視聴ノート

放送日	月	日	番組のテーマ
メモ程度でいいですから軽い気持ちで書きましょう。			
○特に印象に残ったこと。			
○番組に対する質問、問題点、疑問点。			
スクーリングに話し合いたいテーマ。			
(記録は自己の学習のあしあとです。がんばりましょう)			

# 新生公民館繁盛記

(42)

## 農業後継者対策に工夫

### 新時代のコミュニティづくりへ



# 黒川村公民館

#### 公民館の沿革

わが村の公民館は戦後、市芳次大先輩がナトコ駄尊機を背負い、各部落を巡回しながら跳圍のあとに、「公民館とは…」と語りかけたのが公民館活動の始まりである。当時役場内に事務所を置き、各部落に分館を置いて活動した。それ以来民間有志指導者の熱意によって部落ごとに成長があったと聞いている。昭和31年度から三ツ館を設置、各三小学校長に支館業務をお願いし、学社連携のもとに各校区を中心となって活動の便を図ってきた。昭和41年度に村営体育館が完成し、新装なった体育館へ教育委員会と共に木館事務所を移し、社会教育の拠点として活動を開始した。更に役場新庁舎が完成した50年度に再び役場内事務所を移した。

#### 完備した施設誕生

昭和51年10月、冷暖房完備の中央公民館(黒川村民ホール)が完成し、公民館活動の拠点として行政と住民が密接な連携のもとで、公民館としての機能を樹立するとともに、総合的な施策が生れた。

公民館は花ざかり、これまでにすでに四十七館の公民館が登場。好評をいただいています。これらもどしどしご紹介いたします。

「健康を豊かな村づくり」をモットーとして、教育・文化・スポーツの充実を柱に地域連携と均衡ある地域の繁栄を願いつつ推進している。

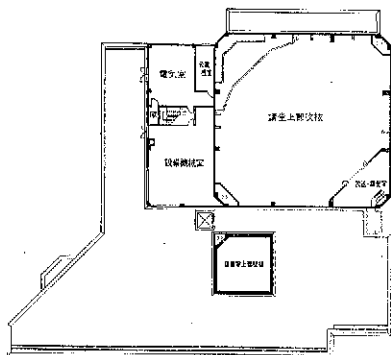
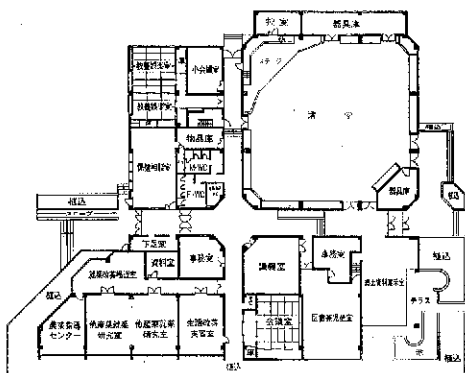
#### 主なる活動

青少年地域活動事業を始め、家庭教育、婦人学級、成人学級並びに高齢者教室などを開設し、生涯教育の推進に努めている。一方、時代に対応した新生活運動をはじめ

(黒川村公民館長中村鐵雄)

### ■ 平面図

- ・構造 鉄筋コンクリート一部2階建
- ・敷地面積 6,903㎡
- ・建物延面積 1,860㎡



(好評の社交ダンス教室)



め、今更にはどうも悩みとなっている農業後継者の育成確保から、結婚相談所に取り組んでいる。このため昨年より社交ダンス教室もあわせて開講し、二期生はすでに上級×タリストに合格した方も数多い。今では二期生も大変上達し、一期生と共に各校区へ夜間出張指導に当たっており、青年男女が熱心にバルバー・タンゴ・マンボ・ブルース等を次々とマスターしている。時代に対応した社交の場づくりと共々、この中からいつかのカッパルが生えてゆくなから、後継者育成にも大きく役立つ地域社会の繁栄にもつながるものと期待している。

一目的羅を施す

新路線を刺激するものだから、ますますエスカレートしてしまい、調子に乗った社会教育は、学級・講座よきよきなら、大学・セミナーこんには、と

「一目的の羅」だけでは鳥をとらえることはできないが、だからといって、鳥をとらえるには一目的の羅が必要なのだ。世の中の人達の心行はそれぞれ違う。多くの人が同じ心行にはげんでいるこ

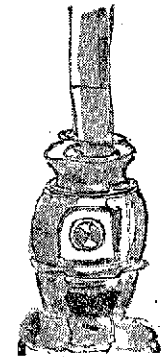
社会教育にかかわっている人ー社会教育主事や公民館主事には、学校の教師の理解できない苦勞がいくつつかある。そのうちの一つは、人集めをしなればならない苦勞である。「なんとか学級」とか「なんとか講座」とかを開設しても、近頃はお客様(学習者)がなかなか集まってくないものである。そこで、「集める教育」から「集めない教育」「届ける教育」へ、などという新スローガンが編み出され、お客様を断念したような「新教育」が流行するようになってしまった。

「一目的の羅」だけでは鳥をとらえることはできないが、だからといって、鳥をとらえるには一目的の羅が必要なのだ。世の中の人達の心行はそれぞれ違う。多くの人が同じ心行にはげんでいるこ

宗教と教育の知恵

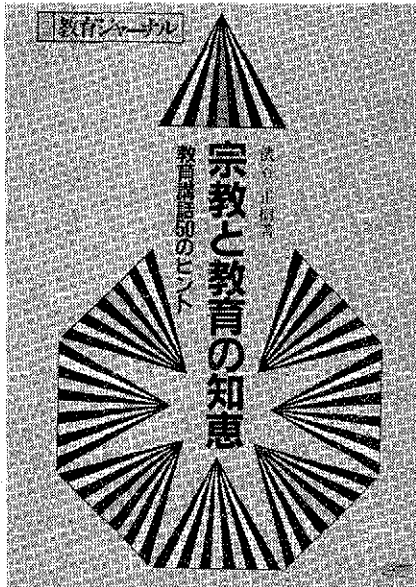
依谷正樹著

ともあれば、たったひとりでも多種多様な心行を秘めていることもある。ひとりの人のためにするように多くの人のためにする時にひとりの人に逆にする時もある。なにはともあれ、広く法網の目を施して心行の鳥をとらえることだ。一目的の網の限界にこだわれれば、法網を張り渡すなんてことは愚の骨頂である。しかし、摩訶止観の善巧安心を熟思すれば、一目的の羅を巧みに天空に張りめぐらすのもまた仏法の知恵というもののなのである。文句なしに集まってくる生徒にとりかこまれていく教師には、わからない世界なのである。



依谷先生の遺稿

本県の生んだ教育界の麒麟、依谷正樹先生が定年をまたずに世を去った。著書には「社会教育学」「21世紀への家庭教育」など多数があるが、ここに紹介する「宗教と教育の知恵」は、月刊教育ジャーナルに連載した50の講話を別刊としてまとめたものである。教育に宗教との接点を見出そうと努めた労作で、各章とも短文ながら読みごたえがある。一読を希望される方は下記あて連絡を



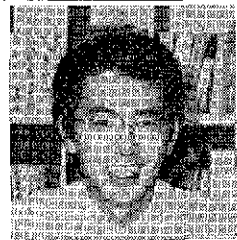
販布連絡先  
〒145 東京都大田区上池台4-40-5  
学習研究社  
月刊「教育ジャーナル」編集室  
TEL (03) 720-1111 内線 2441

プロフィール

豊栄市中央公民館主事

高橋剛氏 (32才)

「おはようございます。さわやかな挨拶がきこえるからでなかろうか。公民館主事となって五年、その前は義務課で五年、中央公民館のスタッフは補任以下十名で市民のニーズに答えながら生涯教育に取り組んでいるが、社会教育にたずさわるとは、行動力と柔軟な頭脳をフル回転させて、新鮮なアイデアを生み出して行く剛君は、今日もせっせと公民館の炎を大きくもやすために活動中です。」  
(豊栄市中央公民館長 丸山 昇)



編集部からのお願  
「プロフィール」欄は、市町村公民館で活躍中の職員の方を紹介する場として、それぞれ所属館長さんからご執筆をお願いしています。若手、ベテランを問いません。館長さんを通じて、ユニークな活動を続けておられる職員の方々をぜひ御紹介ください。  
字数は七五〇字。顔写真を一枚ぜひ添えてください。送り先は、一冊に所載の県公連事務局あて。

あの頃のこと

知事が県公連役員を招待

記憶もぼろろながら、先にも述べてきた龍野という会長を捕らしたように私が公民館に身をまかせたのは敗戦後の混乱の中、焼け出された、復興、外地からの引揚げ等やむなく家郷へ帰った次三男がウヨヨしていた。政府も各自自治体も悩まぬしこれに対策を講じなげればならなかった。現在の中学校卒業生の九四パーセント以上が高校に進学するまでこのことは文字通り夢想に過ぎなかった。

思い出の記 (4)

小杉 説次郎

日の大会が相違の波紋を呼ぶことは必ずという予感があった。県勢の検討の場でも異様な緊張を感じてはならぬ。しかし、明日の大会にはおらが会長丸山議長を窮地に追い込むようなことはできない。一糸乱れぬ団結の下に断固として守り抜こうと誓い合った。大この時の議長の裁定ぶりになんか感嘆を禁じ得ず先生に対する私淑の気持ちが一段落したことは忘れない。こんな経緯を経て翌昭和二十八年、曲りなりにも青年

予言されていたのに急に次官が出席。そしてこの問題に対する態度が説明がまことにお座なり無責任なものである。私の居間の欄に任せざるやうな空気に会場内は騒然となった。われわれはそれを不満として誰からもなく期せずして腹を叩いて殺戮した。私も文部省の係官めがけて突進、卓をたたく。その修正を迫った。この時丸山議長の許に詰め寄ったものはなかった。そしてその時、議長がどんな発言をしたか、どんな裁定を下したのかなど全然覚えていないが、さしも懸念として全会場の中に整然と処理された。私は長を守り抜こうと誓い合った。大この時の議長の裁定ぶりになんか感嘆を禁じ得ず先生に対する私淑の気持ちが一段落したことは忘れない。こんな経緯を経て翌昭和二十八年、曲りなりにも青年

「則天去私」 小杉説次郎君 私が病を得て県議会議員を退任するまで二期八年間、私は倍々私を去り奉仕することができたことを感謝している。 「その二」 知事公舎で 県公連役員を招待しての晩さん会 県議会議長という肩書きは物言わせて、県下社会教育振興日会夜を分かたず文字通り粉骨砕身努力している公民館関係者に対する感謝の意を表し、その認識を深めさせるため、丸山先生が当時の北

村知事を獲得して、知事公舎の奥の和室で、夕われわれ県公連役員を招待して、くれるという当時としては正に破天荒の快挙。この夜知事はあの巨魁を一人一人の役員の前へ招いて、その労をねぎらい、更にその活躍を期待された。このことは新潟県政史に隠れたことではないながら即代未聞のことである。その結果まことに少額とはいながら、年額一〇〇万円の県公連に対する補助金が交付されるようになり、これがまた社会教育関係者に対する大きな励みになったというエピソードも思い出の一つである。

新刊紹介

「生涯教育時代に即応した公民館のあり方」

この本は、全公連が第五次専門委員会 (委員長 大東文化大学教授 田 調査、検討の上、本年三月答申されたものです。

はありませぬ。したがって公民館の運営・事業に直接関与する館長、職員はもろろんのこと、運営審議会の委員全員から必ず一読をおすすめます。また運営審議会の会議には必ず持参、参考にしてほしい一冊です。

生涯教育時代に即応した公民館のあり方

この答申は、二十世紀を展望し、これからの生涯教育時代に、公民館がどのように対応していかなければならないかを明示しています。 端的にいえば、「この答申は「公民館のバイブル」であり、また、「この答申を読まずして公民館を語るなかれ」といっても過言で

生涯教育時代に即応した公民館のあり方 全国民館連合会・編 一冊 二五〇円 (送料別) 申込先 新潟市川端町二ノ九 新潟県公民館連合会 電話 〇二五二〇六〇七三



あとがき

全公連の第五次専門委員会の答申した「生涯教育時代に即応した公民館のあり方」を読みすすむと、公民館は、ユニユニエーターや民間の教育産業(いわゆるカルチャーセンター)等の進出に注目しつつ、そのあり方をめぐる問題に焦点をあてるように思います。生涯教育という幅広い体系のなかで、「社会教育推進の中核機関としての任務」を全うしていくには、相当な専門性を公民館自身が創造していかなければならないのではなからうかと、痛感させられました。公民館の職員の方々からもぜひ読んでいただきたいと思えます。(新刊紹介欄を参照してください) 九月に新潟県前橋市で開催された第25回東田信敬輝公民館大会の機会を載せました。本県からの参加者は二十名とすまずの成績でした。編集の都合上十名開催の全国民館研究会の模様を前面に載せましたが、あわせて読み直していただければ幸いです。(本)